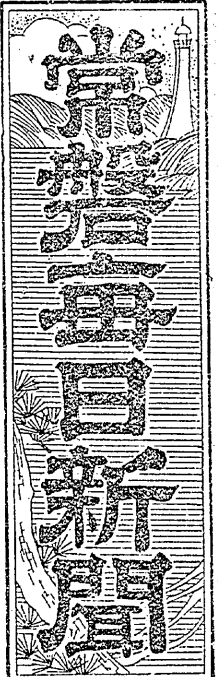


刊夕日五十月八



定額一冊五錢... 印刷所 常磐毎日新聞社

この一途

川平生

現下の非常時に對し農山村救済、中小商工業者の救済と町村會に更生會と種々なる名目の下に集合し其都度問題になる低利資金の措置、並に農工銀行の償還延期、曰く救済資金の貸出し、曰く不動産の資金化何れも結構なる事計りにて一日も早く其實現を待つべきものなるが果して之が吾々細民の救済となるべきか吾々は低利資金や農工銀行の恵を受けて居ないのである

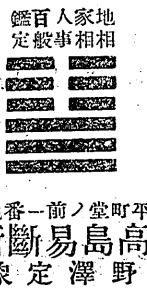
ノート

毒虫にさされた時はアムモ

得た人は細民でなくして中産以上の國民である今後も然りとすれば何を以て更生の道とならう、斯う研究し來ると有産者よりなる町村會も救済會も自己を中心と

したる計略、おまけに政治家がモトトリアム云々を口にするを以て地方の大小高利貸、商店の店賃等は總ゆる方法を行ひ、細民は一日も居たまらず日毎に夜逃するか

さなくば自殺するより道なし、さて自殺するは兎に角夜逃げしても行先きはなし八方ふさがりの今日之れを救ふの道は如何にせんか今少し眞剣になりて御研究ありたい、尙吾人の考は斯ういふ問題は漸進的にやるべきものでなく、一夜にして其途を講ずべきもので要は直に實行し且つ効果あるものでなければならぬことに爲政者の御考慮を望む。



地相相 人事 定 易 断 定 所 象 町平 島野 前島 澤野 所 象

目下の者の不時の怪俄に注意【三碧】金苦の爲目上と争論の引起す事あれば謙遜以吉【四綠】氣運滞滯萬事意の如く行ひ難き日なれば控目が吉【五黄】縁談金談の念起るも奔走なし其の効果を待たざる日【六白】名譽の爲め金錢費消爲めに家内に風波を起さぬ様【七赤】病氣怪俄に注意して猛進せざれば吉【八白】水火の難に注意して忍耐努力すれば後日吉となる【九紫】營業繁忙の大吉唯だ水火の難と印形書附に注意

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

旭硝子株式會社製品 板ガラス 硝子食器 松崎硝子製作所 内科一般 難波 陸 外務社員採用 初任固定給月三十圓 吉田仁三郎 小兒科 内科 渡邊醫院

耳鼻咽喉科専門 鈴木正男 鈴木喜政 鈴木醫院 恐ろしい疫痢の流行期!!! 西村屋藥局 久全屋商店 旭粉末石鹼 旭化學工業所 村山三郎 行商人募集す

表点得補候議縣

町村別	前回得票			有権者數	投票	棄權	政友赤坂	民政草野
	政友會得票	民政黨得票	大衆黨得票					
飯野	一、八八	一、六〇	八三	四、三三	三〇二	九五	一四六	一五〇
鹿島	三、四〇	二、五	三	六、四二	四二	一六	三〇	一五
江名	三、四〇	二、五	三	六、四二	四二	一六	三〇	一五
久間	三、三	二、二	四	五、五	三六	一九	二八	二五
高井	三、三	二、二	四	五、五	三六	一九	二八	二五
夏谷	三、二	二、一	三	五、三	三七	一八	二七	二四
神谷	三、二	二、一	三	五、三	三七	一八	二七	二四
草野	四、七〇	三、三	五	八、〇	五五	二七	三六	三三
大倉	四、三	三、〇	四	七、三	五二	二四	三三	三〇
平井	三、七	二、四	三	六、一	四四	一八	二七	二四
赤川	三、七	二、四	三	六、一	四四	一八	二七	二四
川下	三、三	二、〇	三	五、三	三七	一四	二三	二〇
川上	三、三	二、〇	三	五、三	三七	一四	二三	二〇
好間	二、二	一、九	四	四、一	二七	一〇	一八	一五
内郷	二、二	一、九	四	四、一	二七	一〇	一八	一五
湯本	二、二	一、九	四	四、一	二七	一〇	一八	一五
磐野	二、二	一、九	四	四、一	二七	一〇	一八	一五
上野	二、二	一、九	四	四、一	二七	一〇	一八	一五
入野	二、二	一、九	四	四、一	二七	一〇	一八	一五
田部	二、二	一、九	四	四、一	二七	一〇	一八	一五
川部	二、二	一、九	四	四、一	二七	一〇	一八	一五
勿來	二、二	一、九	四	四、一	二七	一〇	一八	一五
山田	四、七	三、三	五	八、〇	五五	二七	三六	三三
植田	四、七	三、三	五	八、〇	五五	二七	三六	三三
渡邊	三、二	二、一	三	五、三	三七	一八	二七	二四
王泉	三、二	二、一	三	五、三	三七	一八	二七	二四
小濱	一、三	一、〇	二	二、三	一六	七	一四	一二
合計	一、四八	一、六〇	八三	四、三三	三〇二	九五	一四六	一五〇

磐城共濟病院 電話(一六四)番

- 内兒科 院長 石山謙郎
- 外科 院長 有馬勇二
- 皮膚性病科 院長 近日常任
- 産婦人科 院長 石山謙郎
- 耳鼻咽喉科 院長 石山謙郎
- X線科 院長 石山謙郎
- 物理療法科 院長 石山謙郎
- 衛生試驗所 局長 石山謙郎
- 藥劑局 局長 石山謙郎
- 事務局長 石山謙郎

市原醫院

- 平町田町(電話二一四番)
- 内科 小兒科 市原卯太郎
 - 外科 一般、婦人科 市原陸郎
 - 外科 梅毒、淋病 市原三三男
 - 入院隨時

りん病 永らく悩む人の福音

この名湯別府温泉で出来た無効返金責任薬

岩別府淋病薬

全國知名新聞「こんなヨイクスリを未だ知らな

雑誌 推奨(い方がありませうか)

右は岩里家古来の家傳秘法薬にして男女血らし

慢性淋病、急性淋病、濁病の病みは不思議に止り連服

するも絶対胃腸傷害なき各葉であります。

尚ほ此の薬は責任速効薬で二日内服して効なき時は

殘薬引換に全部異議なく返金します。

論より證據服薬した人は皆全快喜んで居ります。慢

性、悪性の人は七日以上服差して下さい。

美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に

付前金申込者には送料無料、新品送薬す。

代金引換廿三銭手数料金納の事。

薬價 急性用(黒箱) 一週分 參圓

慢性用(赤箱) 一週分 五圓

特約 平町古鍛冶町一〇

手販賣 **阿康藥業**

縣社ノ下(電話四四番)

夏井河岸の地主協定し

失業者救はれず

工事行悩む

既報三十萬圓の工費を以て昨年度より繼續工事中の夏井川改修は來年度に於いて大野、草野、夏井地内に延長一里の堤防を築く筈であつたが草野、夏井兩村地主との間に土地買収の交渉未だ纏らず現在は大野村地内のみ工事を待つて居る尙前

文書戦の

最も激甚な期間

四五六七の四日間

平郵便局では此度の選挙に際し集配人延八名を増員し大忙を極めたが推薦状及び挨拶状の總数は七萬八千四百六十五通で毎日の内譯は左の如く去る四、五、六七日間が文書最も激甚であつた

月日	郵便物
七、二九	一、〇一六
三〇	三、八五
八、三	四、〇四二
四	一三、八四一
五	一五、二〇三
六	一七、六九七
七	一三、八四三
八	四、五三一
九	八五一
一〇	五、四〇四

磐中勝つ

磐炭対水泳

既報磐中對磐炭の水泳競技大會は昨日午後一時半より内郷村高坂プールに於て催されたが八十四對六十四のスコアにて磐中軍大勝利した因に戦績は左の如くである

△二百米リレー(磐中)佐藤、志賀、木村、澁谷、△四百米自由型(庄司)中、水野(同)3小林(炭)△百
米背泳(富岡)炭、2森同

3 佐藤(中) △百米平泳 1 志賀(中) 2 (炭) 3 國井(中) △百米自由型 1 佐藤(中) 2 木村(同) 3 村下(炭) △二百米平泳 1 志賀(中) 2 星野(炭) 3 加藤(炭) △三百米メドレリレー (磐中) 佐藤、志賀、澁谷 △千五百米自由型 1 澁谷(中) 2 庄司(同) 3 富岡(炭) △八百米リレー (磐中) 菅野、澁谷、水野、庄司

成田山の祭例 平町南町成田山祭禮は來る十七日執行地元青年分團では映畫花火等の餘興を奉納する

大酒の亭主に

先立たれた不運な女

山形縣北村山郡楯岡町西町生れ加藤マキ(五)は茨城縣助川町日立礦山に夫甚藏と共に出稼中夫は去る二日大酒を仰つて心臓麻痺で死亡したが貯へ一文もなく十二日同町を出發徒歩の旅を續けて今朝十時頃平町にたどり着いたが疲勞と空腹に耐えず町役場に救助方を願出した

天満宮の

書畫入賞兒

平町紺屋町青年分團にては昨夕天満宮の祭典に際し平町各小學校五六年兒童の書畫展覽會を催したが入賞兒童は左の如くである

- △第一校(五年)加藤侯夫 志賀豊 館次雄 會川貞雄 和田壽一 宮本武雄



今晩は南東風曇勝 明日北西の風雨模様

今晩の部

後六、〇〇(子供の時間) ラヂオ夕涼み「月寒ロマン」(札幌市外月寒月寒種羊場より中継) IK コドモサークル

後六、二六 傳説と史蹟を採ねて(二)「周防灘を繞る般若姫物語」森山右

明日の部

後七、三〇 東北盆踊大會 (仙臺市西公園より中継)

後八、三〇 浪花節「長城の嵐」東家樂燕

後時報ニユ、ス氣象通報番組豫告

前六、三〇 夏期佛語講座 (十一)井上源次郎

前七、三〇 夏期英語講座 (二)の五)鈴木得二

前八、五〇 野球試合實況 「東朝大朝主催全國中等學校優勝野球大會」雨天順延甲子園球場より中継

前九、一〇 料理献立「孟蘭盆會精進料理」小野やす子發表

前一〇、三〇 家庭講座

後〇、〇五 滿洲より

後二、〇〇 夏期講習家庭講座「長唄のお稽古」十四唄村屋七代 三味線村屋彌七

後六、〇〇 子供の時間

ラヂオ夕涼み(第四日)日本ライン下り 愛知縣大山町木曾川積より中継

名古屋お伽俱樂部 指揮 木野三郎

後六、二五 傳説と史蹟を採ねて「北九州に於ける神功皇后に關する傳説」佐々木滋寛

後七、三〇 講演

後八、〇〇 マイクロホンロケーション「大文字を仰ぐ」京都三條河原外村氏別邸より中継

後八、二〇 東北盆踊大會 仙臺市西公園より中継

後八、五〇 義太夫

△同町字定西二百四十六番地雜貨商佐川傳平治(七)は去る五月初旬頃店舖に於て錘糸の切斷したる秤を自分で修繕使用し度量衡法違反として罰金二十圓

△同郡磐崎村大字下湯長谷字町下八十九番地箱崎重義(七)は去る四月二十九日内郷村林佐太郎を金槌の柄で毆打し全治迄一週間を要する傷害を與へ科料十圓

△同郡小名濱町字古港三十八番地地理髮職小山光義(七)は無免許にて去る五月二十日同町地内淨光院の裏山に於てメジロ一羽を捕獲し狩獵法違反として罰金二十圓

△双葉郡浪江町大字權現堂字新町二番地松本信夫方自動車運轉手澤田三男(三)は去る四月二十八日平町より貨物自動車運轉浪江町に向つて進行中平町鎌田町地内に於て同町川崎文字(八)の左下腿部に自動車の右側泥除を支へるスローラを突當て全治迄五週間を要する傷害を與へ業務上過失傷害罪として罰金二十圓

好問江筋選挙

青年團員渡満

郡好問村水利組合では來る廿七日午前八時より同村役場に於て組合議員の選挙を行ふと

青年團員渡満

郡高久村青年團員渡満谷久太郎君は今回本縣の推薦によつて來る廿五日より十月一日迄大日本聯合青年團主催で行はれる第二回滿洲産業研究團員として近く渡満すると

裁判所だより

△石城郡小名濱町字植町五十一番地飲食業馬土キヨ(六)同町字中神明町五番地金物商野口信吉(四)同町字竹町十二番地水夫高橋忠治(三)同所三十四番地無職柳内熊吉(六)の四名は賭博罪として各罰金二十圓宛

村の噂に

居耐れず駈落

山梨縣東八代郡黒崎村農富田徳三郎(三)は去る五月より隣家の吉田文吉妻ミヨ(七)と不義した噂が村中の評判となつて居たため



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第十六回 血に飢ゆる村正

姦夫姦婦を斬る

おあきは怨めしき村正の顔を見て

おあき「村正さん、然るに貴所邪慳にしないで宜いじやアありませんか、此間から私が種々様子に見せるに少しも覺つて呉れないから今日は思ひ切つて良人の名前を騙つてお前さんを呼んだんですよ、是程までに妾が想つてゐるんだから少しは貴所だつて優しい言葉の一つも掛けて呉れたら宜いじやアありませんか」と向も村正の手を取らうとするから村正ビシリおあきの横面を張つて

村「無禮をなさるな、さういふ企みと知つたなら斯様な處へ来るのではなかつた兄弟の約束でした國廣の妻と不義淫奔をするやうな不届き者と村正を思つてゐるのか、斯様な汚らひしい處には寸時もある譯にはならん」と疊を蹴立て村正は立戻る、おあきは呆氣に取られて後姿を見送つてゐたが

おあき「能くも私に耻を搔かしたな必と此の仕返しをして女の恨みを思ひ知らざる」

と不届きな奴もあつたもので可愛さあまつて憎さが百倍などいふ事がありますがおあきは急に村正が憎くつて國廣に對して何か村正の事を悪く言つた、國廣は善い人だが少し女房にの



ろいから段々村正に對して悪い感情を持つやうになりました、村正も夫と氣付いたから之はいけない、何かあんな女が國廣に云つたと見える、斯様な處に長居は無用然しまだ京都の鍛冶に就いてモウ少し修業をしたいが困つたものだと思つてゐると國廣の兄弟分の油小路國重、此の前資正の事で争つた事があるがその後村正とも懇意になつたのでチヨイ／＼遊に行く内に國重が金「どうなすつた村正殿此

喜んで立戻る途中、丁度十五夜の事だが、月に叢雲といふたとへの通り眞黒な雲が出たと思ふ中にポツリ／＼大粒の雨が降つて来た、不圖脇を見ると十王堂があつたから木連格子を開けて中に入り、暫く雨歌みをしてゐると大した事もなく雨が歌んだ、先づ宜かつたと出掛けやうとする處へ何か話しながら来た男女二人連れ、十王堂の前へ立止まつて女「佐五郎さん、かつたねえ雨が止んで」

頃人分浮かだ顔をしてゐなさるが」尋ねられたから實は是々と話をするとさういふ譯なら私の内へ来て當分遊んでゐなさい其内に機會を見て私から國廣に話をすると、幸ひ國廣に断つて呉れるのをと親切に云つて呉れるのをへ来て足を留めてゐる、處が國廣豫て宇治の名主から頼まれた刀を村正が向樋で鍛え上げた研師の方へ廻して置くのと漸く出来上つたから夫を持つて宇治の名主の所へ持つて行くの大層氣に入られて百兩の金子を貰ひ

男「ウム宜い鹽梅だつた然しおあき國廣が心配してゐやアしねえか」女「ナニ大丈夫だよ今夜は必と宇治の名主の處で泊つたに違ひない」我が名を言はれて國廣が吃驚して格子の外を窺ふと現在の我が女房と破落戸の佐五郎といふ奴が睦じさうに話をしてゐる、カイツとした國廣がおのれ姦婦め能くも此の國廣の面へ泥を塗らしたと漸く木連格子をガラリ明けるが早いか抜き打ちにおあきの右の肩口から後袈裟に切倒した、吃驚した佐五郎が逃げやうとする處を飛掛つて之れ又切倒し國「ア、過失だ斯ういふ妖婦と知らずして其の言葉で信じ村正を疑つたのが悪かつた之から行つて村正に詫をしなければならん」

と二人の首を打落して馳來つた油小路の國重の家、村正と國重二人の前へ首を列べて此の物語りを致した村正も氣の毒に思つたが仕方がない、國廣は早速役所へ訴へ出る、矢野近江守といふ方がお調になると眞實をおあきと佐五郎が不義を致してゐる事が分つた、處へ國重、村正の兩人から願つて出ましたから國廣はお構ひなしといふ事でお下げになりなした、それ以來國廣と村正との間は益々親密になりなした、暫く村正京都に足を止めてゐたが再び廻國を思ひ立ち國廣、國重に別れを告げ京都を出立する事になりました。

應需院入
院醫沼藤
町屋紺町平
番七〇五話電

内小 兒科
科科病柳花
大和田醫院
平町南町
電一〇七

豚 肉 蒲 鉾
鹽 肉 蒲 鉾
屋三二三 町 田

咽喉專門
應需院
山内醫院
平町田町七〇番地
醫學士 山内亨吉
電話六九一

平新川町十九
產婦人科 **木村病院**
電話一六四番
院長 木村寅次郎
內臟外科 醫學士 内木宗八
婦人科 產婦人科
整形外科 泌尿科

●新築移轉開業御披露
十四日から移轉開業いたしました！
當日「五日間」粗品呈上
御披露のため當分特に「ランチ」金三十錢也
で勉強いたします……
コックさんも東都一流のうで利きを招きました。
女給さんは美人揃ひ之れまた東京仕込みのサービスでございます。
平町二丁目横 警察署前通り **カフェー平樂**
電話二九六番
皆様 今年の御中元には何品を御撰びになりませうか。
先づどこの御家庭様からも喜ばれます
京茶器と銘茶大勝園をお撰
び下さい。
茶 器 壺 金二十八錢
大勝園 四半斤 金三十二錢
名入 三丁目
大勝園 電話三九六番